

# TOMORROW UNUMA

ウヌマ地域総研が支える地域の明日。



株式会社 ウヌマ地域総研

# GREETING

## 挨 捶

当社は1969年創業し、社名を4回変更しております。創業当時は高度経済成長期で、国土の道路ネットワーク強化と生産性の高い農業基盤整備が推し進められた時代がありました。社員が数名だった頃の測量業務から始まり、測量業務のその先にある設計業務、社会ニーズが多様な生活価値観に変遷するに伴って地域の声をより詳細に捉える調査分析業務、地域の改造を進めるために必要な補償調査業務など、時代のニーズに合わせた商品群を拡大する度に社名を変更し、現在『株式会社ウヌマ地域総研』に至っております。今後、社名変更はなくとも技術開発と技術承継しつつ地域の公共インフラを支えていきます。

公共インフラはあってあたりまえ、無いと生活や経済活動が一切成り立ちません。一時、公共投資は無駄と揶揄された時代もありましたが、例えば車が無くても生活出来る地域とそうでない地域で異なりますし、広い敷地に一軒家を立て上下水道を幹線から引き込み出来る地域と、降雪のない首都圏のマンションが林立する地域ではインフラの機能や考え方、特に維持管理する手段やコストまで全く異なります。当社はそうした地域に合う公共インフラの調査設計で社会に貢献する技術集団です。

2011年3月東日本大震災、2014年8月豪雨による広島土砂災害、同年9月御嶽山噴火、2015年9月関東・東北豪雨。ここ数年でいずれも痛ましい命と財産が失われ、国民に大きな衝撃を与えました。日本国土は自然災害の結果から成り立ったといつても過言でないほどに世界的に見ても稀有な地域であり、それらから守るインフラ基盤と発災してからの行動教育は世界一でしょう。ですが人工的なインフラで自然に打ち克つことは勿論不可能ですし、投入する予算にも限りがあります。私たち技術者は決して傲慢にならずに、地域の安全と安心を確保していくことを使命だと思っております。

当社の社員は、技術者である前に一人の誠実な人間です。一人の技術者があらゆるノウハウを持っているわけではなく、それぞれが得意な分野を持ち、それぞれが連携またはチームを組んで業務遂行しております。今後社会の変化はますます変化に富み混迷を極めることと思いますが、当社はいつの時代でも世の中から必要な会社となるように努力していきます。

代表取締役  
鵜沼 順之

地域の安全と安心を  
「技術」という商品で責任を全うしていく



商号	株式会社ウヌマ地域総研
代表者	代表取締役 鵜沼 順之
所在地	秋田市八橋新川向13番19号
創業	昭和44年(1969年4月)
登録部門	<ul style="list-style-type: none"><li>建設コンサルタント部門</li><li>補償コンサルタント部門</li><li>一級建築士事務所登録</li><li>測量業者登録</li><li>地質調査業者登録</li></ul>

私たちは地域未来の基盤を支える  
大切な仕事をしています。



**UNUMA**

樋門  
水門  
農業用水路  
道路管理施設

揚排水機場  
取水堰

メンテナンス  
(点検・診断)

コンサルタント  
(設計・補償)

リサーチ  
(測量・地質・災害調査ほか)

## 社会基盤

道路

砂防ダム  
河川

橋梁  
堤防

ため池  
上下水道

歩道

公園



# CONSULTANT

# コンサルタント

## 安心して生活ができる社会資本を整備する仕事

調査・計画・設計を通じて、社会の基盤を築いていきます。

### 建設コンサルタント　社会生活の基盤となるインフラの整備に向けた調査・計画・設計を行います。



魚類の遡上性に配慮した取水堰の計画・設計



洪水時浸水被害を受ける地区における堤防の計画・設計



配水施設(上水道・農業)の計画・設計



遊水池小堤



遊水地小堤の計画・設計



自動車専用道路の計画・設計

### 補償コンサルタント

「公共事業」を施行する際に、事業に必要な土地の調査・測量及び、支障となる建物などの補償算定等を行います。



地権者からの境界確認



建物の状態・価値を判断するための調査

# MAINTENANCE

# メンテナンス

## 社会インフラを安全・安心に長く使うため、点検する仕事

施設の長寿命化を図るため、コンサルタントとリサーチの技術を駆使して、点検・診断を行い、対策を提案します。



河川管理施設の点検・診断・補修設計



橋梁や道路管理施設の点検・診断・補修設計

## 土地の形や地形・地質を測る仕事

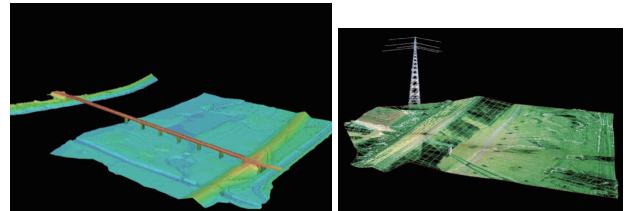
設計や現地把握の基本となる地形などの計測、地質調査や災害時の被災調査を行います。



緊急を要する堤防の被災調査(H23.3.11 東日本大震災北上川下流管内)



GNSS測量・トータルステーションによる測量



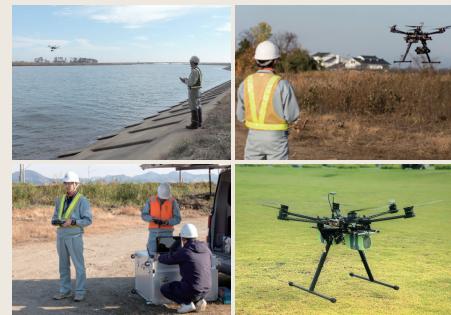
3次元レーザースキャナによる地形計測

## インフラ用ロボット技術を活用した技術提案

### UAV(無人飛行機)

当社のUAV(無人飛行機)はローターが複数あるマルチコプターです。マルチコプターは、リモコンによる遠隔操縦やGPS搭載による自律飛行が可能です。UAVは社会資本の維持管理や災害調査等に大きく貢献します。

- 上空150mの斜め・垂直撮影が迅速にできます。
- 遠隔操作飛行200mと自律飛行1kmの移動が可能です。
- 近接困難箇所での撮影が可能です。
- 飛行操縦と撮影操作を分離した安全飛行を実現します。
- 3軸カメラジンバルによる360°パノラマ撮影が容易にできます。



UAV(無人飛行機)を活用した調査・技術提案

### リモコンボート

河川・ダム、海岸、港湾等の水域部について、深浅測量を行う技術。「深浅測量」とは河川やダム、湖沼又は海岸において、水底部の地形を明らかにするため、水深、測深位置又は船位、水位又は潮位を測定し、断面図を作成する作業です。音響測深機にはシングルビーム方式とマルチビーム方式があり、シングルビーム方式は線的な計測を行い、マルチビーム方式は面的な計測を行なうものです。当該機器はシングルビーム方式の音響測深機を搭載する無人リモコンボートです。

- 深浅測量業務での利用(河川縦横断測量、ダム等貯水池の堆砂測量など)
- 災害時調査業務での利用(土砂崩れや天然ダム、津波被害時など危険箇所)
- 特殊現場での利用(水深の浅い水域やため池、貯水池などのロッド計測不能な危険箇所)



リモコンボートを活用した調査・技術提案(深浅測量)

### ADCP(超音波多層式流速計)

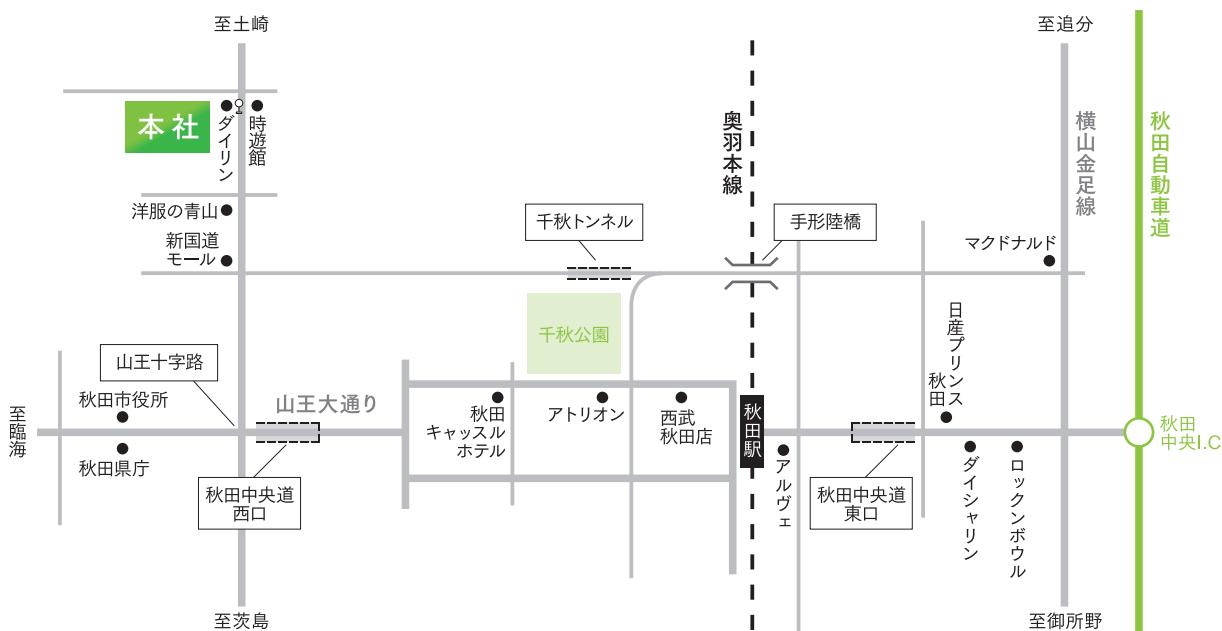
当社が取り扱うADCPは高精度な3次元流速分布やボトム深浅形状、流量データが得られる簡易かつ高精度なドップラー式3次元流速・流量計です。当社では製品仕様区分から「M9」(エムナイン)と呼称しています。M9は小型で可搬性に優れ、データの信頼性が極めて高く、あらゆる河川や水路、水域での計測に威力を発揮します。

- 流量観測
- 深浅測量、3次元水中計測
- 河道特性調査
- 湖沼・ダム貯水池の環境調査
- 汽水域・河口域の環境調査
- 海岸調査(流れの調査)



ADCPを活用した調査・技術提案(流量観測・3D水中計測)

# ACCESS



- 秋田自動車道 秋田中央IC(車約15分)
- JR秋田駅(車約15分)
- 秋田中央バス マツダ前停留所(徒歩約1分)



株式会社 **ウヌマ地域総研**

## 本社

〒010-0965  
秋田県秋田市八橋新川向13番19号  
TEL.018-863-5809 FAX.018-863-5022

### 仙台支社

〒981-3112  
宮城県仙台市泉区八乙女二丁目11番地の2  
TEL.022-341-7625 FAX.022-341-7668

### 湯沢支社

〒012-0002  
秋田県湯沢市字下二井田21番地2  
TEL.0183-73-7181 FAX.0183-73-7183

### 盛岡支社

〒020-0883  
岩手県盛岡市志家町3番28号  
TEL.019-613-7480 FAX.019-613-7481

### 北秋田支社

〒018-3312  
秋田県北秋田市花園町20番13号  
TEL.0186-63-2905 FAX.0186-63-2925



RB-Q15026

<http://www.unuma.co.jp>  
E-mail. [info@unuma.co.jp](mailto:info@unuma.co.jp)